

P0081, P0082

『Uボート戦とその効果』

Der U-Bootskrieg und seine Wirkung

発行年不詳

謄写版

31.5cm × 23.0cm

17 ページ

表紙なし、和本綴じ

潜水艦を使った艦船攻撃の目的とその効果について、図表付きで解説したもの。本文6ページと11枚の図表からなる。

**P0083**

『工場施設 — 技術面と経済面についての研究』

Fabrikanlagen. Studie über Beziehungen zwischen Technischem und Wirtschaftlichem.

1919年

エドゥアルト・フォッケロート Jr. 著

謄写版

19.5cm × 26.8cm

242 ページ

布張り上製本

工場設備と動力に関して細かく検討を加えた論文。動力に関しては蒸気機関、内燃機関、電力、水力、風力について述べ、設備に関しては、立地から照明、暖房、通気などに触れている。

**P0084**

『日本の小学校読本解説』第1分冊

Erläuterungen zu den japanischen Volksschulfibeln. Heft I

1917年

ハンス・ティッテル、ハインリヒ・グロースマン訳著

謄写版

19.7cm × 27.3cm

36 ページ

薄紙簡易製本

当時の尋常小学校読本を、ページごとにその記述内容をドイツ語訳し、解説を加えている。この分冊は1年生前半が対象。



P0085 (画像なし)

『日本の小学校読本解説』第2分冊

Erläuterungen zu den japanischen Volksschulfibeln. Heft II.

1918年

ハンス・ティッテル、ハインリヒ・グロースマン訳著

謄写版

19.7cm × 27.3cm

54ページ

薄紙簡易製本

この分冊は1年生後半が対象。

P0086

『日本の小学校読本解説』

第3分冊

Erläuterungen zu den japanischen Volksschulfibeln. Heft III.

1918年

ハンス・ティッテル、ハインリヒ・グロースマン訳著

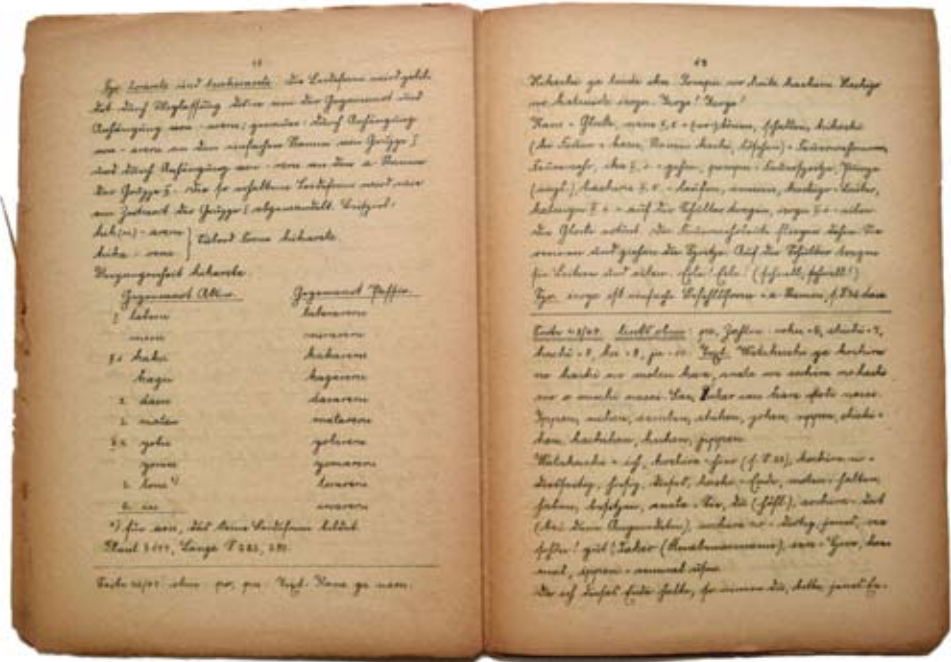
謄写版

19.7cm × 27.3cm

66ページ

薄紙簡易製本

この分冊は2年生前半が対象。



P0087

『日本の小学校読本解説』第12分冊

Erläuterungen zu den japanischen Volksschulfibeln. Heft XII.

1917～1919年

ハンス・ティッテル、ハインリヒ・グロースマン訳著

謄写版

19.7cm × 27.3cm

260ページ

簡易製本

この分冊は6年生後半が対象。

P0088

『国民年中行事 — 国民の経験中の一年、日本語からの正当な翻訳』

Kokumin nennchuu gyoji. Das Jahr im Erlebnis des Volkes. Berechtigte Übersetzung aus dem Japanischen.

1919年初期

アドルフ・バルクホルン、エルンスト・カイスナー、ハインツ・ファン＝デア＝ラーン、グスタフ・ルドルフ、エーリヒ・シモーニス訳

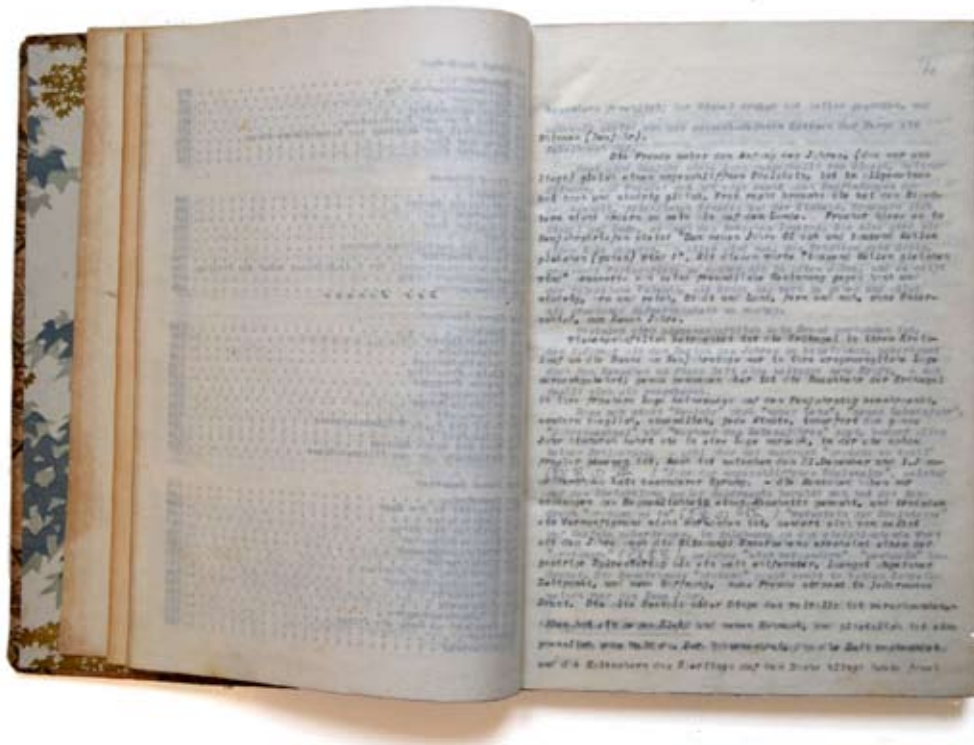
タイプコピー

21.5cm × 28.7cm

368 ページ

布張り上製本

大正3、4年頃出版の『国民年中行事』という本の独訳版。板東での出版物には珍しいタイプ印刷である。



P0089

『日本の警察』

Polizei in Japan.

1919年

謄写版

19.0cm × 26.4cm

64 ページ

画用紙簡易製本

大正5年刊行の『日本の警察』の訳および注釈。内容は日本の警察制度についての解説書。



P0090

『日本の格闘技相撲《相撲図説》』

SUMO der japanische Ringkampf. Nach japanischen Quellen.

1919年

ハンス・ティッテル訳著

謄写版（挿絵に多色刷り）

45ページ

画用紙簡易製本

日本の相撲について、その起源から、力士の位階、土俵、決まり手など絵入りの詳しい解説書の独訳版。



P0091

『日本地理』

Japanische Erdkunde. Aus dem Japanischen übersetzt.

1918年

クルト・マイスナー訳

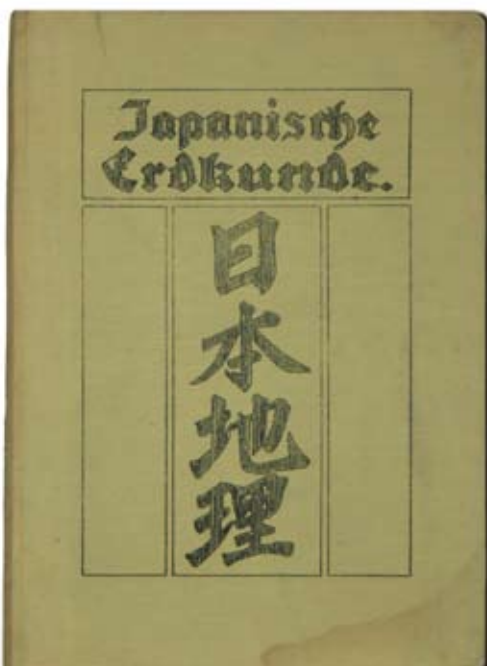
謄写版

19.5cm × 27.2cm

317ページ

布張り上製本

大正2年（1913年）発行の中学校および師範学校用「新訂 日本地理教本」の独訳版。内容は自然地理および人文地理（日本本土ならびに台湾、朝鮮、樺太を含む）。



P0092

『中国礼節指南』

Wegweiser durch die chinesischen Höflichkeitsformen.

1919年

フランツ・ティーフェンゼー著

謄写版

19.7cm × 27.0cm

300ページ

布張り上製本

著者は第一次世界大戦前、青島の徳華高等学堂で教鞭を執っていた中国語学者。内容は中国人との親密な交際に必要な儀礼を事細かに記載したものである。後に、東京のドイツ東洋文化協会から再版が出されている。



P0093

『中国語の多音節集』

Sammlung Chinesischer Mehrsilber

1919年

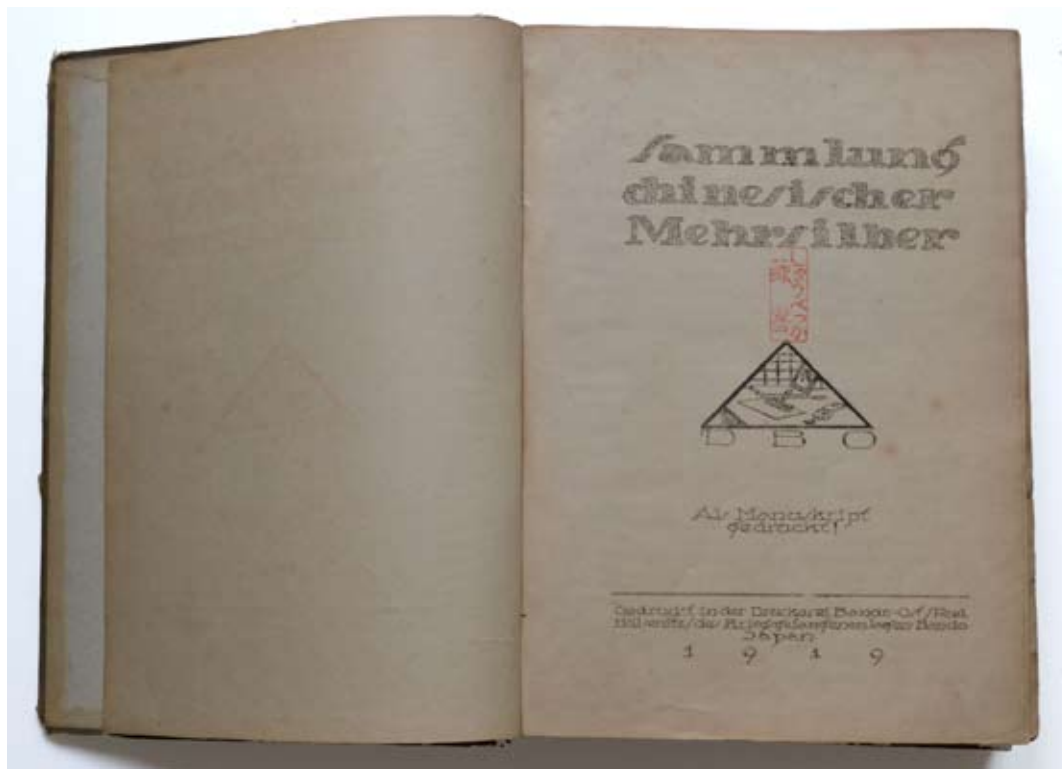
謄写版

20.3cm × 26.9cm

1015ページ

布張り上製本

中国語の二字以上の漢字表現を集めた中独辞書。20名以上の人が参加して新聞などから資料を収集し、独自に編纂したものである。謄写版ではあるが、板東印刷所（石版印刷所）の出版物である。



P0094 (右、中)

『1920年ふるさとカレンダー』

Heimatskalender 1920

1920年

ムッテルゼー、ヒュルゼニッツ制作

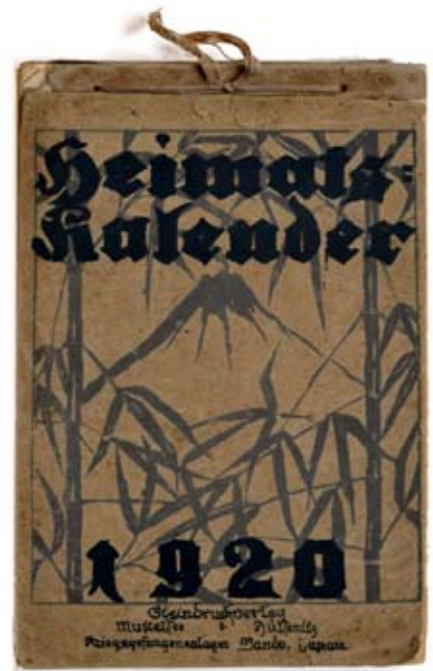
石版

13.1cm × 19.2cm

106ページ

画用紙簡易製本

絵入りの日めくりカレンダー。「ふるさと」という表現があるが、画題は日本人や日本の風景である。



P0095, P0096, P0097 (下)

『14枚の石版画』

14 Steinzeichnungen

1919年

石版(絵) + 謄写版(文)

19.8cm × 26.8cm

31ページ

画用紙簡易製本

5人の作者による単色石版画の画集。画題は日本の風景や人物画など。



P0098, P0099, P0100, P0101, P0102

『収容所スケッチ 10 枚』

10 Zeichnungen aus dem Lager. — Originalzeichnungen auf
Wachsbogen von M. Blomberg.

1919 年

ヴィルヘルム・ブロンベルク

謄写版

29.5cm × 22.0cm

10 枚

収容所内のさまざまな風景のスケッチ画である。副題によれば、
画家自身が謄写版のロウ原紙に直接描いたものである。つまり、
いったん紙に描かれた原画をロウ原紙上でなぞって模写したもの
ではないらしい。



2. 音楽プログラム

板東に収容される以前から、徳島、丸亀、松山の各収容所では楽団が結成され、音楽会も数多く催されていた。これらの楽団は、ある程度のメンバーの増加と変動はあるにしても、板東に来てそのまま独自に活動を続けていく。ひとつはH. ハンゼンの指導する徳島オーケストラ（後にMAKオーケストラに改称）であり、もうひとつはP. エンゲルの指揮するエンゲル・オーケストラである（ただしプログラムではエンゲル・オーケストラの名称はほとんど使われず、「エンゲル指揮のコンサート」という表現が用いられている）。これらは管弦楽団である。3番目としてA. シュルツの指揮するシュルツ・オーケストラがあるが、これは吹奏楽団である。2つの管弦楽団は競い合うように数多くのコンサートを開いているが、それにともないプログラムが作成されている。これらは、後に紹介する演劇、演芸会、スポーツ大会なども含め、すべて謄写版による印刷である。特に表紙には多色刷りが多く使われ、とても美しいものである。「エンゲル・オーケストラ」のプログラムにはオーケストラ名の記載がなく、単に「パウル・エンゲル氏指揮の第〜回コンサート」とされているだけの場合があるが、「エンゲル・オーケストラ」という名称がプログラム上に書かれているときもあるので、日本語タイトルでは一貫してこの名称を用いることにする。

会場はバラック第1棟が多い。ここの東半分が講堂として用いられ、音楽会のみならず、演劇、講演会、演芸会などの会場となったのである。また、特に合唱や演劇のプログラム中には、「禁煙」と書かれているものが見かけられることがある。それだけ会場内での喫煙者が多かったのであろう。

P0103

『エンゲル・オーケストラ第1回コンサート』

1. Konzert unter Leitung des Herrn Paul Engel, am Sonntag, den 13. Mai 17, nachmittags 3.00 Uhr in Baracke I. Bando.

1917年5月13日

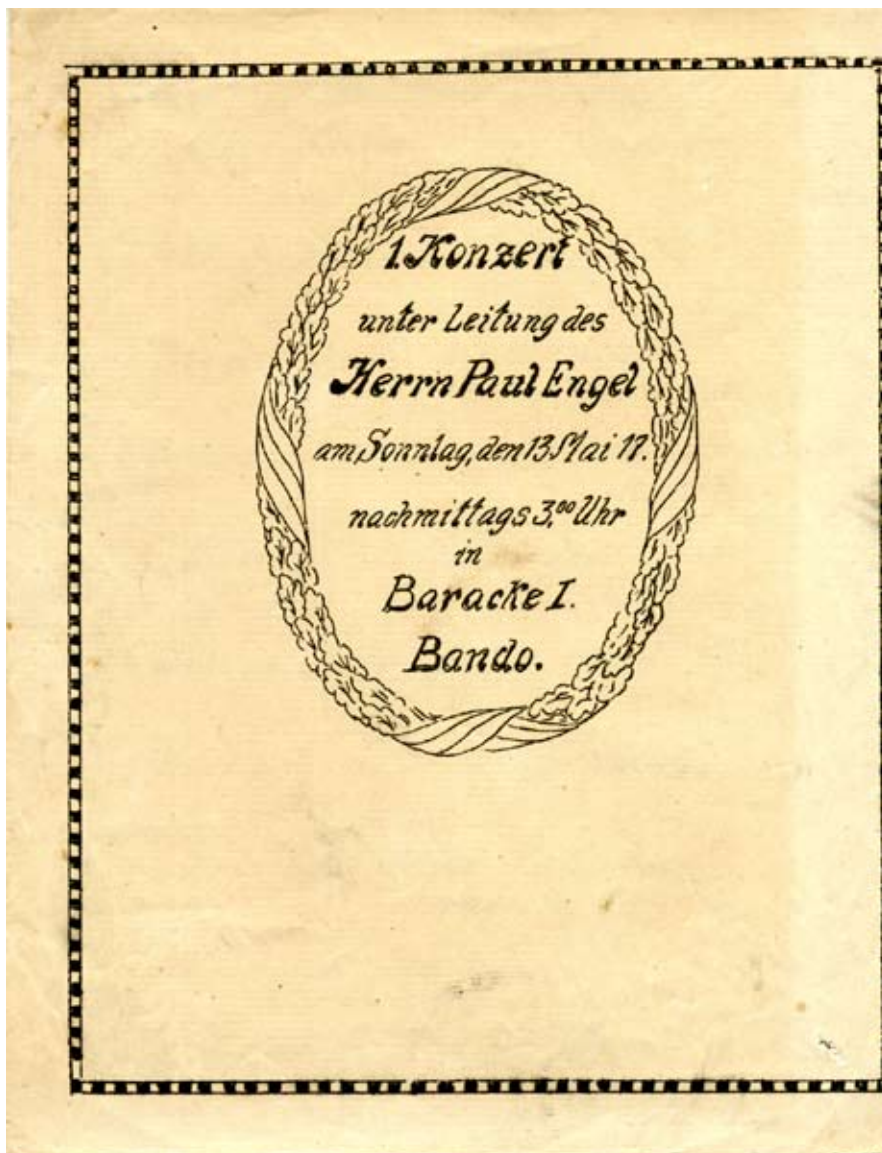
謄写版（単色）

20.3cm × 16.6cm

二つ折り（4ページ）

表紙文面の訳は「パウル・エンゲル氏指揮による第1回コンサートプログラム、1917年5月13日、日曜日、午後3時、バラッケ第1棟にて」。

プログラムは、メンデルスゾーン「司祭の行進」、ロッシーニ「セビリアの理髪師」序曲、ワルトトイフェルのワルツ「とてもかわいい」、グノー「ファウスト」による幻想曲、ルビンスティン「(ヘ調の) 旋律」、ニコライ「ウィンザーの陽気な女房たち」メドレーの全6曲。



P0104

エンゲル・オーケストラ第2回コンサート

2. Konzert in Bando unter Leitung des Herrn Paul Engel, am Sonntag, den 3. Juni 17, abends 7.15 Uhr im Musik-Pavillon.

1917年6月3日

謄写版（3色刷）

20.5cm × 16.6cm

二つ折り（4ページ）

周囲の枠は帝政ドイツ国旗の「黒・白・赤」の3色を配している。帝政ドイツ国旗の3色の帯が巻き付けられ、下には古代の豎琴が配されている。プログラムの表題を翻訳すると「パウル・エンゲル氏指揮による板東第2回コンサートプログラム、1917年6月3日、日曜日、午後7時15分、音楽堂にて」となる。

曲目は、マイアベーア「戴冠式行進曲」、オッフエンバック「天国と地獄」序曲、アルディーティ「キスワルツ」、サラサーテ「チゴイネルワイゼン」、ケレル・ベラ「喜劇序曲」、シュトラウスのワルツ「春の声」、ワルトトイフェル「ベラ・マズルカ」、ドリープのバレエ組曲「 Coppélia」の全8曲。

